

河南の民
種と陝西
の民種

石炭と出
所

北道より遠きこと優に行程二日以上の差あるのみか、咸陽にて渭河を渡り、更に潼關にて黄河を渡るの煩あればなり。故に商隊の往來は北道に多くして南道に少なし、況んや三原は北道の要衝に位置し南は西安を距る僅に七里北は直路、膚施（延安府城）に通ずべく、道路四達、交通最も便なるか故に、陝西の物貨も亦此地に集散するもの尠からざるをや。爲めに豪商は却て西安より多しと。然れども將來、西潼鐵道敷設せられ、次で太原線潼關に達するの曉には、三原の盛況は勢ひ西安若くは潼關に移る無きを保せざるなり。

又河南には漢人化せし蒙古人比較的多く、陝西省には純漢族其の大部分を占め、滿人回民の如きは、僅に西安城内（人口約五十萬内漢人四十萬餘萬滿人四萬回民五萬）の一隅に壓迫せられ、殊に城外には一の回民なしと云ふ。聞く同治の末年、渭原の回民、馬化龍を謀主として擾亂を起すや、漢民一致之を平け、該族は悉く省外に驅逐し、其の亂に與らざりし城内の回民のみを留めしと。

燃料は河南と同じく石炭及穀稈草根を常用とし、西安附近は専ら黄河を下りて渭河に溯り來る山西の無煙炭、若くは秦嶺の西山脈にして西安の南方に聳ゆる終